

〔科目名〕 卒業研究				〔単位数〕 4単位		〔科目区分〕 卒業研究科目	
〔担当者〕 下村 育世						〔授業の方法〕 演習	
〔演習テーマ〕 近代とはいかなる時代か ——明治以降に変化したモノ・コトを宗教史に着目しながら考える (3)各自好きなテーマで卒論を書きあげる編							
〔演習内容〕 宗教にかかわるテーマか、歴史学的方法により、学生が自らの関心に基づいて課題設定を行い、卒業論文を作成する。論文の総字数は、文字資料や画像、図表、参考文献を含めて、40000 字程度を目安とする。 春学期のうちに、論文の書き方について改めて学びなおします。信頼に足る情報資源の検索の仕方なども復習します(4～5 月)。それらを踏まえて、各自のテーマに基づき先行研究を探し、卒業論文で明らかにしようとする問題設定を固めていく(6 月。進捗状況の報告をしてください。共に練っていきます)。夏休みまでに一度、テーマ、問題設定、おおよその目次、全体の流れ、参考文献表を踏まえた中間報告をしてもらいます(7 月。発表以降、改変をしても構いません)。 秋学期には、上記の報告と夏休みの研鑽を踏まえて、論文執筆の指導を行い、卒業論文を完成させる。どうしてもテーマが見つからない場合には、教員が提供することも考えています。							
〔科目の到達目標〕 ・図書館やデータベースを利用し、信頼に足る情報検索の方法を理解し、実践できる。 ・正しく引用することができる。 ・参考文献表を作ることができる。 ・他者の意見を理解した上で、自分の意見を述べることができる。 ・研究をするにあたっての一連の手続きを理解する。 ・正確な日本語による論理的な卒業論文を作成できる。							
〔ディプロマ・ポリシー (DP) との関係〕							
学部				学科			
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3	
		○	○				
〔前提条件〕 担当教員は今年度から本演習を担当するため、今年度はどなたでも受け入れます。 歴史や宗教に関心があることが望ましい。							
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) テストやレポート等は課しません。必要に応じて演習に出席すること、レジュメなどを作成し発表することが必須です。議論においては積極的な発言を期待します。							
〔教科書等〕 村上紀夫『歴史学で卒業論文を書くために』創元社、2019 年。							
〔実務経歴〕 特になし							

授 業 スケ ジ ュ ール	
時 期	テ ー マ と 内 容
春学期	テキストを輪読しながら、論文執筆の構想を練る。
夏休み	先行研究の調査
秋学期	卒業論文執筆